

法人（事業所）理念	「生まれ育った地域でどんな重い障害があっても生きる」			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する子どもたちと日々信頼関係を深め、そっと想いを響かせあえる関係を作る。 ・子どもたちの気持ちに寄り添い、頑張りや成長をやさしく見守り、安心して過ごせる時間を大切にする。 ・新しいことに挑戦しそれぞれの世界を広げられるように支援する。 ・家族と職員がお互いに信頼し合える関係作りを行う。 			
営業時間	9時から18時	送迎の有無	（あ） なし	
支援内容				
本人支援	①健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア＝自宅で家族等が日常的に行う医療的生活援助行為（人工呼吸器管理、酸素療法、吸引、経管栄養、排尿管管理、痙攣時対応等）を行い元気に過ごす ・看護師による日常の健康状態のチェックを行い安定して過ごす ・経口摂取の児は食事の楽しさ、安全に嚥下を行えるよう介助する ・口腔ケアを十分に行い健康を保つ ・お風呂に入り清潔を保つ 		
	②運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・セラピストを中心に快適な日常生活を送ることができるように取り組む ・味覚、臭覚、聴覚、視覚、触覚、前庭覚、固有覚を意識した遊びを取り入れる（発達段階に合わせて活動内容を変える） 		
	③認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・制作活動では、微細運動（手先指先を使う）により、感触を認知し、時間をかけて作品を作り上げる喜びや達成感を味わう ・上肢を使い活動ができるようポジショニングを整え、自発的な行動に導き成功体験を増やす ・季節に合った行事を体験することで季節の流れや時間の流れを感じる ・始まりと終わりを意識し見通しを持って生活ができるようにする 		
	④言語 ・ コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・表情や体の動きを使って気持ちや考えを伝えたり職員が気持ちを代弁することで、相手に伝わった時の喜びや気持ちを共有する喜びを感じる ・それぞれに合ったスイッチを使い表現できる環境を整える 		
	⑤人間関係 ・ 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と日々の関わりを通して信頼関係を築き安心感を持って過ごすことができるようにする ・異年齢児との関わりを通して他者の存在や自分との違いを知る ・集団活動を通じて一つに目標を協力して達成し、その体験を他者と共有することで、一体感を得る ・外出行事を通して社会の様子を知る 		
	活動プログラム（5領域）			
	おと	音楽（うた・楽器・ハンドベル演奏・手遊びなど）②③⑤		
	うごく	運動（ボール遊び・競技遊び・散歩・台車電車、ブランコなど）②③④⑤		
	さわる	感覚遊び（感触遊び・オーガンジー・シャボン玉・スライム・片栗粉・粘土他）②③		
	つくる	制作（季節の制作・父の日母の日の制作・クッキング・野菜スタンプなど）②③⑤		
朝の会（始まりの会）	朝の歌③④ スイッチで挨拶、日付確認、活動確認④ お名前呼び⑤ 絵本③			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流の場を設ける ・必要に応じて面談を行う ・日常生活において不足している支援がないか確認し、必要があれば情報提供を行う 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに合わせた支援を行う 	
地域支援 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所との交流 ・学校や相談室との情報共有 	職員の 資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・内外の各種研修会への参加 	
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会、進級進学お祝い会、家族交流会 ・サクランボ祭り、ハロウィン、クリスマス会、お花見、夏祭り、もちつき、初詣、豆まき、ひなまつり 			